

マップ

地理情報をもとに、数値データを地図上に可視化するグラフ

◇機能

マップは、地理情報をもとに、数値データを地図上に可視化するグラフです。地点やエリアごとの分布状況や偏りを、地図上で直感的に把握することができます。表やグラフでは把握しにくい地理的な傾向の分析に有効です。

THUMGY Dataのマップでは、地理情報として、緯度と経度の値が必要です。

◇設定内容

The screenshot shows the 'Chart Form' interface for creating a map visualization. The left sidebar contains settings for the map, and the main area shows a map of Japan with data points. Numbered callouts indicate the following components:

- 1:** Location field (住所) with a 'Field to add' button.
- 2:** Legend field (凡例) with a 'Field to add' button.
- 3:** Latitude field (緯度) with a 'Field to add' button.
- 4:** Longitude field (経度) with a 'Field to add' button.
- 5:** Bubble size field (バブルサイズ) with a 'Field to add' button.
- 6:** Map title field (住所と出荷先の、緯度の平均と経度の平均).
- 7:** Average dropdown menu (平均 ▼).
- 8:** Legend title field (出荷先).
- 9:** Close button (閉じる).
- 10:** Save button (保存する).

The map displays data points for four companies: PQR社 (green), MNO社 (black), GHI社 (red), and ABC社 (yellow). The map title is '住所と出荷先の、緯度の平均と経度の平均' and the legend title is '出荷先'.

◇設定内容

- 1. 位置 : 都道府県名、市区町村名、国名など、地図上の位置を特定できる項目を設定します。
- 2. 凡例 : 地域区分やカテゴリなど、色分けに使用する項目を設定します。
- 3. 緯度 : 位置の緯度の項目を設定します。
- 4. 経度 : 位置の経度の項目を設定します。
- 5. バブルサイズ : 数値をマーカークの大きさで表示します。
- 6. フィールドの追加 : それぞれの項目の対象となるフィールドを指定します。
- 7. 数値の種類 : 緯度、経度、バブルサイズの数値の種類を「合計」「最小値」「最大値」「平均」「件数」「要約しない」から選択します。
(※緯度、経度の場合は「平均」または「要約しない」を選択)
- 8. チャートタイトル : マップのタイトルです。
- 9. 《閉じる》ボタン : 保存せず画面を閉じます。
- 10. 《保存する》ボタン : チャートを保存します。

◇操作ログ

CREATE CHART TYPE "MAP" TABPAGE n TABNAME "タブ名" LOCATION-AXIS TABLE "テーブル名" FIELD [位置フィールド] VALUE-AXIS TABLE "テーブル名" 数値の種類 FIELD [バブルサイズフィールド] LEGEND-AXIS TABLE "テーブル名" FIELD [凡例フィールド] LATITUDE-AXIS TABLE "テーブル名" 数値の種類 FIELD [緯度フィールド] LONGITUDE-AXIS TABLE "テーブル名" 数値の種類 FIELD [経度フィールド] DATALABEL "off/on" TITLE-TEXT "チャートタイトル" WIDTH n HEIGHT n CHART-X n CHART-Y n DEFAULTFORMAT CHARTID "チャートID" WITH DATA "テーブル名" OPEN

※数値の種類は選択した内容により記述が変わります

数値の種類	ログ
合計	SUM
最小値	MIN
最大値	MAX
平均	AVG
件数	COUNT